

リーフ海岸における養浜工の計画・設計および養浜後の海浜応答

コンサルタント海外事業本部 運輸・交通事業部 港湾・空港部 大中 晋 他

○キーワード

養浜、海岸保全対策、海岸侵食、サンゴ礁海岸、計画・設計、モニタリング調査、海外事業

○概要

国内での大規模な養浜事業は非常に限られていることから、実務上必要な計画・設計上の留意点や、実証データに基づく養浜後の海浜応答について明らかにされている事例は数少ない。インドネシアバリ島では、JBICによるリーフ海岸での海岸保全対策事業が現在実施中である。これは、1970年代より顕在化しつつあったサンゴ礁海岸での海岸侵食に対し、養浜工を主体とした砂浜の復元を図るものである。本報告は、海外の現地事情の条件下において、国内でも例を見ない大規模養浜事業に対する計画・設計上の考え方および留意点を述べるとともに、現在継続中の海岸モニタリング調査の結果から得られた養浜後の海浜応答について明らかにした。

○技術ポイント

- ① 現地事情の特殊性を有する中での数少ない大規模養浜事業に対する計画・設計事例であること
- ② 10年以上にわたる長期的な海岸モニタリング調査を実施していること
- ③ 実測データに基づく養浜後の海浜応答特性を明らかにしたこと

○図・表・写真等



1978年（26年前）



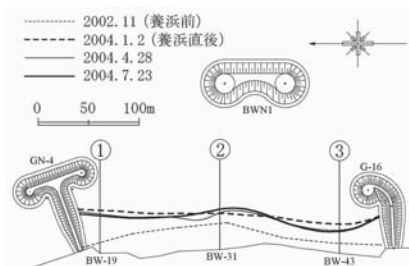
2002年（施工前）



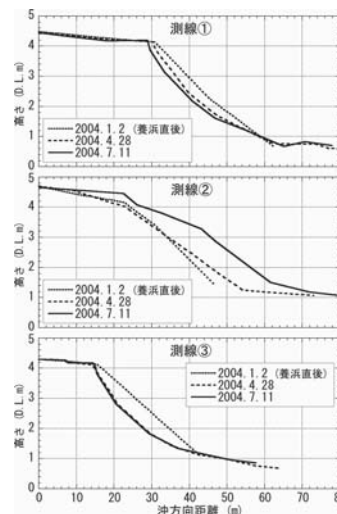
2004年（施工後）

26年前および養浜前後での海岸状況（サヌール海岸）

養浜により、以前と同様の砂浜（浜幅約20m）が復元された。



養浜後の汀線変化および海浜縦断地形変化（サヌール海岸）



養浜後、3ヶ月程度でほぼ安定形状が得られることが示された。